

記入例

(様式8)

令和〇〇年〇月〇〇日

日本大学学長 殿

前年度のものを4月に報告
してください。

学 部 名 〇〇学部

学部長名 〇〇 〇〇 印

飼養保管状況報告書

日本大学動物実験実施規程に基づき、令和 〇〇 年度における飼養保管状況について、下記のとおり報告します。

動物種	飼養数(*)
マウス	30,000

* 当該年度における延べ数

(例) 100頭を300日飼養した場合

100頭×300日=30,000頭

(様式 9)

令和〇〇年 〇月〇〇日

〇〇学部長殿

動物実験責任者

所属：○○○○○

職名：教授

氏名：日大 太郎

他学部（他研究機関）における動物実験実施申請書兼理由書

標記のことについて、他学部における動物実験を実施したいので、下記のとおり申請します。

記

１．研究課題名	○○○○○○○○○○○に関する研究
２．実施場所	学部名又は研究機関名：□□学部 実験室名称：○号館△△△実験室
３．理由 (具体的に記述)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
４．特記事項	

※動物実験計画書、その他当該動物実験計画に関連する資料を添付すること。

記入例

発がん物質投与実験申請書

	氏 名	所属	職	緊急連絡先
1. 発がん動物 飼養・保管 担当者	日大 太郎	〇〇学部〇〇学科	教 授	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	日大 花子	〇〇学部△△学科	准教授	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

2. 発がん物質 投与実験	投与物質の名称 <div>○</div>
	投与物質の詳細 物理化学的性質(形状, 分子量・性状(温度・pH・光など), 揮発性, 引火性, 安定性など), 健康に対する有害性(急性毒性, 生殖毒性, 変異原性, 発がん性, 許容濃度など), 環境に対する有害性(生態毒性, 残留性など), 取扱い上の注意, その他知られている事実を記入する(必要に応じてデータシート等を添付する)。 <div>○</div> <div>○</div> <div>○</div>
	人体に対する発がん性の IARC の評価 (該当項目を■,4の場合は説明) <div>■</div> 1. グループ1 (発がん性がある) <div>□</div> 2. グループ2A (おそらく発がん性がある) <div>□</div> 3. グループ2B (発がん性があるかもしれない) <div>□</div> 4. その他()
	動物種・頭数・投与方法・頻度・総投与量 マウス・10 頭・ <div>○</div> ・ <div>○</div> ・ <div>○</div>
	投与した危険物質等の動物体内での代謝・排泄・蓄積など(飼育室・ケージ内での有害物質の蓄積の有無等) <div>○</div>

3. 本実験における 安全性・安全対策 について	実験実施者等が、発がん物質に暴露した場合の対処方法(具体的に)	
	<div></div>	
	飼養保管施設及び実験室の汚染防止策および汚染された場合の対処方法(具体的に)	
	飼養保管 施設	<div></div> <div></div>
	実験室	<div></div> <div></div>
4. 特記事項		

※ 動物実験計画書に添付すること。